

子ども・若者からの意見聴取の実施と反映について

Ⅰ. (仮称) 枚方市こども計画(素案)の前段階にあたる「中間整理(案)」について、広く意見を聴きました。

中間整理(案)の「やさしい版」で聴く		
対象	質問内容	手法
小学5年生～中学3年生 (上記対象以外からの回答も可能とする)	こども計画中間整理(案)「やさしい版」に書いてある取り組みをみて、どのように思いますか。「もっとこんなことをしてほしいな」「もっとこうしたらよくなるんじゃないかな」など、あなたの意見を自由に書いてください。	・タブレット(公立の小学5年生～中学3年生) ・市ホームページ
中間整理(案)の「概要版」で聴く		
対象	質問内容	手法
39歳までの子ども・若者 子育て当事者	こども計画中間整理(案)「概要版」に書いてある「5つの目標」や「主な取り組み」の内容をみて、希望や、より良くするためのご意見などをお伺いします。	市ホームページ
意見と反映		
(タブレット配信による意見募集) 【主な意見】 ・ボール遊びができる公園や場所がほしい ・公園や遊び場をもっと増やしてほしい ・もっと子どもが楽しめるイベントを増やしてほしい ・性の多様性への理解が浸透するよう、周知・啓発に取り組んでほしい ・体育館などにエアコンをつけてほしい ・学校をきれいにしてほしい ・公共のトイレをきれいにしてほしい ・いい計画だと思った など (市ホームページによる意見募集) 【主な意見】 ・室内の遊び場をつくってほしい ・勉強できる施設がほしい ・道路などを安全に使えるようにしてほしい など 【反映(予定を含む)】 各事業の担当課に意見を共有するとともに、意見に応じて、こども計画中の記載内容に反映する。 ※ 詳細は参考資料7-2		

「やさしい版」と「概要版」は、年齢に関わらず、どちらでも意見を提出可。

2. 子どもや若者に関わる取り組みなどについて、関係施設への訪問などにより意見を聴きました。

小学校教育への円滑な接続の推進について聴く		
対象	質問内容	手法
未就学児	小学校のことで知りたいことは、な～に？	保育所・幼稚園へ訪問し、子どもたちへは担任の先生から聴いてもらう。
意見と反映		
【意見（概要）】 「学校までどうやっていくのかな」「小学校の持ち物ってどんなもの？」「校舎は大きいのかな」「漢字をちゃんと読めるかな」など、「知りたいこと」だけではなく心配な気持ちやがんばりたい気持ちの吐露があった。 【反映（予定を含む）】 小学校や就学前施設に、聴いた声を伝えるとともに、幼保こ小の架け橋プログラム事業にいかす。意見をくれた未就学児には、聴いた声を先生に伝えることをお礼のメッセージとともに伝える。		

障害のある子ども等への支援の充実について聴く		
対象	質問内容	手法
子ども発達支援センターの通所児童（未就学児）	特定の質問はしない。 （色々な場面を通じて、職員が声を拾いあげる。）	子ども発達支援センターへ訪問し、職員と子どもたちのふれあいを通じて、子どもたちの声を聴く。
意見と反映		
【意見（概要）】 プールや食事、遊びなど、色々な場面を通じて、言葉にならないながらも表情や体全体を使って、自分の好きなこと、好きな食べ物などを示してくれた。 【反映（予定を含む）】 一人ひとりの児童の気持ちを大切に、子ども発達支援センターの事業を運営する。意見をくれた児童には、今後もみんなの気持ちを大切にしていけることをお礼のメッセージとともに伝える。		

学童期・思春期、青年期の取り組みについて聴く		
対象	質問内容	手法
支援学校の生徒	【調整中】 （想定：居場所について）	むらの高等支援学校へ訪問し、生徒に聴く。
実施時期 調整中		

中間整理（案）の「概要版」（別紙案）で聴く		
対象	質問内容	手法
ひきこもり当事者	こども計画中間整理（案）「概要版」に書いてある「5つの目標」や「主な取り組み」の内容をみて、希望や、より良くするためのご意見などをお伺いします。	・居場所支援事業「ひらば」のコーディネーターと調整の上、訪問して中間整理（案）の「概要版」の内容を説明し、フォーム入力などで回答いただく。 ・市相談窓口で内容を説明し、フォーム入力などで回答いただく。
意見と反映		
【意見（概要）】 ・計画の対象が「39歳まで」と決められているのが不安 ・文科省が「最終目標は学校へ行くこと」という事をやめて何年も経つのに、学校から家庭訪問や電話がある。その間は1ミリも心は回復しない ・枚方市の若者支援とハローワークなどが連携しているように感じられない。 ・市内複数の場所で居場所を作してほしい、市の相談員を充実させてほしい 【反映（予定を含む）】 ひきこもり等子ども・若者相談支援センターにおける課題を有する若者に対する今後の取り組みに反映するとともに、計画の記載にも反映する。		

3. その他、色々な機会を捉えて、子ども・若者から、意見を聴きました。

学童期・思春期の居場所づくりの推進について聴く		
【放課後子ども課が実施している対面式ヒアリング調査との連携】		
対象	質問内容	手法
小学生	「どんなことができる場所」や「どんなものがある場所」なら毎日でも行きたくなる～？	留守家庭児童会室・放課後オープンスクエアへ訪問し、児童に声をかけて聴き取る。
意見と反映		
【意見（概要）】 自由に遊べる、友達と遊べる、ゆっくりできる、ほっとできる、静かに過ごせる、自由に過ごせる、広い部屋、きれいな部屋、サッカーができる、遊園地やゲームセンターみたいな場所、ソファ、椅子、ゲーム、本、おもちゃ、遊具、秘密基地、立体迷路、お菓子などの意見が出た。 【反映（予定を含む）】 放課後子ども課、子ども青少年政策課及び総合型放課後事業受託事業者で、児童から聴いた声を共有するとともに、総合型放課後事業（留守家庭児童会室・放課後オープンスクエア）に反映する。 放課後子ども課の策定する計画の児童向け概要版に、意見のまとめと意見に対する回答を掲載する。		

学童期・思春期の居場所づくりの推進について聴く		
【子ども食堂】		
対象	質問内容	手法
小学生・中学生	「どんなことができる場所」や「どんなものがある場所」なら毎日でも行きたくなる～？	子ども食堂へ訪問し、児童・生徒に声をかけて聴き取る。
意見と反映		
【意見（概要）】 「友達と一緒に過ごせる」「遊べる」「公園やアスレチックがある」など、遊ぶことができる場所が多く集まったが、「勉強や宿題ができる」「一人になれる」といった意見も一定数あった。 【反映（予定を含む）】 子どもの居場所づくりに係る新たな取り組みを検討する際に聴いた声を検討材料として活用するとともに、所管課が明らかな声については必要に応じて所管課に共有する。意見をくれた子ども食堂には聴いた声をお礼とともに伝える。		

学童期・思春期の居場所づくりの推進について聴く 【教育指導課が実施している「君のアイデアが未来を変えるプロジェクト」に応募（採用されるかどうかは学校が判断）】		
対象	議論内容（テーマ）	手法
小学生・中学生	自分の「居場所」ってなんだろう？	本テーマを選択した学校において、議論いただく。
10月末現在、申込みなし		

学童期・思春期の居場所づくりの推進について聴く 【枚方まつり実施時にブースを出店し、子どもを守る条例の啓発とともに意見聴取を実施】		
対象	質問内容（案）	手法
小学生・中学生 （未就学児等を含む）	枚方にあったらいいなあと思う“もの”	ブース来場者に自由に書いてもらう。
意見と反映		
【意見（概要）】 子どもたちからは大部分が「遊び場」に関する声が多く、中でも「水遊びができる公園」「プール」といった意見が一定数あった。また、保護者等の大人からは「小さい子どもが遊べる無料の屋内施設」「屋根つきスペースがある屋外公園」など、子どもが安心して安全に遊ぶことができる場所という声が多く集まったが、「家族で楽しめるイベントがもっとあればいい」といった意見もあった。		
【反映（予定を含む）】 子どもに関する新たな施設や取り組みを検討する際に聴いた声を検討材料として活用できるよう必要に応じて所管課に共有する。		

学童期・思春期の居場所づくりの推進について聴く 【「総合的な学習（探求）の時間」で、市が中学校を訪問する際に意見聴取を実施】		
対象	質問内容（案）	手法
中学生	「どんな居場所」があればいいと思う？	学校訪問時に聴き取る。
12月実施予定		